

磐梯町成立30年



農・工業のまちから、
歴史と文化のまちへ。

新庁舎の完成を皮切りに、景観に配慮した公共建築物を充実させていく姿勢は国際観光モデル地区に指定されたこともあり、歴史と文化、自然を生かすまちづくりへとハード・ソフト両面を充実させていきます。63年にはカナダのオリバー市と姉妹都市を締結、様々な文化交流の場を創出しています。



磐梯山慧日寺資料館

<磐梯町成立～30年の年表>

1980 昭和55	'81 昭和56	'82 昭和57	'83 昭和58	'84 昭和59	'85 昭和60	'86 昭和61	'87 昭和62	'88 昭和63	'89 平成元年	
農業振興五ヶ年計画策定	磐梯町役場庁舎建築完成	林道北環・赤枝線完成	磐梯町保育所完成	国史跡慧日寺跡周辺整備事業着手	日本名水百選認定 (磐梯西山麓湧水群)	国際観光モデル地区に指定	磐梯山慧日寺資料館オープン 大谷地区県営総合農地開発事業完成	第3セクター「磐梯清水平開発(株)」設立 重点整備地区「表磐梯地区」として 会津フレッシュリゾート構想 カナダ国オリバー市と姉妹都市を締結 磐梯山噴火百年イベント	リゾート法第一号に指定 ふるさと創生政策で全市町村に 1億円交付	防災無線開局 昭和天皇崩御、平成と改元 消費税3%スタート
校内・家庭内暴力急増	中国残留日本人孤児初の正式来日	東北新幹線開業 エアロビクス、ゲートボール人気	東京デイズニールランド開園 日本海中部地震	グリコ・森永事件	科学万博開幕 日航機御巣鷹山山中に墜落	チェルノブイリ原子力発電所で 大事故 男女雇用機会均等法施行	利根川進教授に ノーベル医学・生理学賞			

景観に配慮した公共建築物

1980～

～住み易いまちづくり～

町役場、中央公民館といった公共施設が磐梯山の裾野のランドスケープにあわせて続々と建て直されたのはこのころから。四季折々に姿を変える磐梯山の風景に調和するレンガ色の壁面で統一された建物群は、行政が建築物に景観への配慮を組み入れる、その先鞭をつけたものといえます。



磐梯幼稚園



磐梯町保育所



磐梯第二小学校



磐梯環境浄化センター